

ご家庭の火災予防 今一度点検を 3月1日(日)▶▶▶3月7日(土) 「春の火災予防運動」



急ぐ日も
足止め 火を止め 準備よし



元日は岡八幡神社で無事故無火災の祈願後、管内各地区で折々放水を実施。1月11日(日)には日の出ぶ頭での静岡市消防出初式に参加しました。

まず、清水第八分団を取り巻く環境についてお話しします。昨今、高齢者世帯の増加やモバイルバッテリー等による新たな火災リスクに加え、大規模災害へ

の備えも急務となっております。こうした中、地域を守る最前線である当分団の役割が年々増している一方、団員確保が大きな課題となっております。管内の安全

を次代へ繋ぐためには、地域の皆様への支えと若い力の増強が不可欠です。私たちは、地域全体で防災を担う文化を育むことが、強靱な街づくりへの第一歩であると考えています。分団員の増強にぜひともご理解とご協力をお願いいたします。

さて、3月1日(日)から始まる「春の火災予防週間」では、例年通り子どもたちによる広報活動を予定しておりますが、中止させていただくこととなりました。この広報活動は、コロナ禍での中断期間を挟みながらも約45年にわたり続いてきた第八分団の伝統行事です。これまでも多くの子どもたちに参加していただき、地域の皆さまとともに防火意識の輪を広げてまいりました。

強靱なまちづくりへの第一歩 地域で防災担う文化を 第八分団 分団長 田村好幸



静岡市消防団清水第八分団
〒424-0939
静岡市清水区下清水町1番1号
☎351-0603
〈発行責任者〉田村好幸
〈令和8年3月発行〉全戸配布



「春の火災予防週間」では、例年通り子どもたちによる広報活動を予定しておりますが、中止させていただくこととなりました。この広報活動は、コロナ禍での中断期間を挟みながらも約45年にわたり続いてきた第八分団の伝統行事です。これまでも多くの子どもたちに参加していただき、地域の皆さまとともに防火意識の輪を広げてまいりました。



本年もよろしくお願いたします

静岡県知事表彰

消防功労章 小寺裕文 (千歳町)

静岡県消防協会表彰

特別功労章 出口健一 (宮加三)

功労章 眞田 龍 (月見町)

みんなで住宅火災をなくそう!!

住宅用火災警報器は ホームを守る!!



くふうハヤテベンチャーズ静岡
赤堀 元之 監督

鉄壁な守備はチームを守る!!



くふうハヤテベンチャーズ静岡
高橋 駿 選手



住宅用火災警報器の設置と
定期的な点検をお願いします。

地区祭り [10月19日] 岡まつり・浜田まつり
[11月2日] 船越まつり



早朝訓練 [11月9日] 12方面隊の合同訓練。事前のミーティングと放水訓練



地区防災訓練 [12月7日]

船越地区で車両展示と
消火器・放水訓練を実施



秋葉山 [12月15日]

まとい祭り 清水区の無火災を祈る



八分団出初式

[1月1日]

岡八幡宮へ初詣のあと、
管内で無事故無火災の
祈念放水



静岡市出初式 [1月11日]

客船と富士山をバックに一斉放水



18歳以上であれば、男女・職業・学生不問！

八分団団員大募集

＼ 私たちも分団活動と仕事を両立しています。お気軽にご入団ください。／

まずは下記までご連絡ください。見学だけでも大歓迎

- 連絡先
- 清水第八分団 ☎054-351-0603
 - 分団長 田村好幸 ☎054-352-3723
 - 清水消防署 消防団係 ☎054-367-3126

新入団員紹介



吉川 康正 2025年入団

消防団はもともと町火消で、大工や鳶、小売商人の人達が担っていましたが、現在、多くの人達が勤め人となり、昼間の火事の時に消防車を出勤させることが難しいと聞きました。定年後はサッカーやテニスで時間を費やしていたので、少しは役に立てるかと思い入団させていただきました。様々な職種の人達との交流も楽しく良い経験をさせて頂いています。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの
習慣

寝タバコは絶対にしない。
させない。

ストーブの周りに
燃えやすいものを置かない

コンセントはほこりを清掃し、
不必要なプラグは抜く

6つの
対策

出火防止
火災の発生を防ぐために、
ストーブやコンロ等は
安全装置の付いた機器を使用する

初期消火
火災を小さいうちに消すために、
消火器等を設置し、
使い方を確認しておく

早期覚知
火災の早期発見のために、
住宅用火災警報機を定期的に点検し、
10年を目安に交換する

早期避難
お年寄りや身体の不自由な人は、
避難経路と避難方法を常に確保し、
備えておく

延焼拡大防止
火災の拡大を防ぐために、部屋を
整理整頓し、寝具、衣類及び
カーテンは、防災品を使用する

地域の助け合い
防火防災訓練への参加、
戸別訪問などにより、
地域ぐるみの防火対策を行う

放火されない環境づくり

物置や倉庫には
鍵をかける

センサーライトなどで
家の周りを明るくする

車やバイクの
カバーは防災製品
を使用する

ゴミは必ず収集
日の朝に出す

家の周りに燃え
やすい物を
おかない

近隣の住民と協力し、
放火されない環境をつくる

放火災害を防ぐ6つのポイント